

“SO OPPONENT HAS A HIDE” by Lary Faris

抄訳：薩川俊三

試合中に、対戦相手が得点を隠すことは必ずある。これに、どのように対応すべきか？

図は、トーナメントの準決勝で私が行った対応だ。試合はウォーキングシングルス、75 ポイントゲームで、私は第1ゲームを勝ったが、プレー中の第2ゲームは、61対63で、リードされている。今はフットで、イエローの私がハンマーを持っている。

ブラックがセントピートを置き、イエローがクリアした。ブラックが再びセントピートを置き、イエローがクリアしようとしたが、イエローのキューディスクが相手のセントピートの場所に残って、その背後にブラックが7得点を完ぺきに隠した。

今度は、イエローの私の第3ショットだ。ブラック7は、両側に約6mm見える。そこには、コートの内側へ向かう僅かなドリフトがあるが、外側からシュートして突き出すのは難しそうだ。私は図のように、セントピートすれすれにシュートして、ブラック7の直ぐ手前のロー8に得点した。

別の対応方法が、次の3つある。

第1の方法は、セントピートすれすれに強くシュートして、ブラック7の端に当てる。このショットは、セントピートに当たりそうだ。セントピートに当たった時は、相手はカバー・ディスクを置いてブラック7を隠そうとするが、うまく隠せないこともある。

第2の方法は、セントピートを強く突いて、ブラック7に当てるショットだ。多くのプレーヤーが、このショットを使っている。ブラック7に当たらないと、キュー・ディスクがセントピートの場所に残って、ブラック7は相変わらず隠れている。

第3の方法は、相手側コートに得点するキッチンベイトだ。幸運にも、ブラックがクリア・ザ・ボードをミスしてブラック・ディスクを残すと、イエローがハンマーでブラック・ディスクをキッチンに入れて勝つが、そうなる確率は低いだろう。

私は幸運だった。ブラックは強くシュートして、私のイエロー8を突き出し、キューディスクをセントピートの背後の8にスライドさせようとした。成功すると、得点が2つ隠れる。しかし、突かれたイエロー8がブラック7の真正面に当たった。ブラック7は突き出され、イエロー8はそこに残ってイエロー7になった。私はハンマーを得点して、この第2ゲームにも勝ち、この試合の勝者になって、決勝戦に進んだ。

私は次の機会には、違う方法を使うかも知れない。その時自分ができると思った方法で、対応しよう。これは75ポイントゲームであるが、フレームゲームの参考にもなる。

